

# 自然保育推進事業 活動報告書

## 1 かえで幼稚園

## 2 今年度の活動概要

### (1) 職員の資質向上の取組

今年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響があり、外部講師を招いた講習ができなかった。そのため、園内研修として園内における自然保育の活動をまとめていく作業を職員で行った。

- (1) 園内にどのような自然があり、またそれを利用した遊びにはどのようなものがあるかを季節ごとに挙げる。
- (2) それらを植物ごとにまとめ、その内容を挙げていく。
- (3) それらの活動にあるねらいや意味はどのようなものかを考察する。

この作業は保育環境としての自然を見直すことを目的とした。その際動植物に詳しい職員とそうでない職員とを同じグループに入れることで、それぞれの活動の言語化を助けていった。それによってできたのが次ページ以下の表である。

こうした表にすることにより、園内の環境への理解を職員全体で共有することができたように思う。ただ、この表はあくまで途中経過であり、これをもってまとめを終えたとは考えていない。その理由として挙げられることとして、一つにはこの表がまとめられすぎているからであり、実際に起こっている園児の自然遊びはもっと多様なものであるからだ。また、もう一つには自然や保育環境は年を経るごとに変化していくものであり、たとえば木が枯れたり新たな花が咲いたりということが起こることは頻繁であるからだ。こうしたことを考えると、職員の資質向上の取り組みとして定期的に行っていく必要がある活動であると考えている。いかに別表を添付する。

季節	項目	内容	ねらい、備考
春	タンポポ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天ぷらなどで食べる</li> <li>・タンポポコーヒーを作って飲む</li> <li>・「タンポポ」の名前の由来を考える</li> </ul>	味覚 想像力
	樹木	落ち葉をお尻に敷いて滑り台を滑る（春の落ち葉は硬くてよく滑る＝クチクラ層が発達している）	落ち葉の季節は冬だけではない
夏	草	オオバコ相撲	
	樹木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・笹茶作り＝笹の葉をフライパンなどで煎る</li> <li>・セミの抜け殻探し、抜け穴探し→見えないところでの幼虫の行動を想像する</li> </ul>	味覚 創造力
	栽培	<b>田んぼビオトープ＝観察のためのビオトープではなく、自分たちもそこで生きていることを感じ取る場</b>	
秋	木の実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べて美味しいどんぐり探し</li> <li>・どんぐりを植える＝大きく育つ姿を想像し、周りの木や環境の数十年後を想像して植える。</li> <li>・どんぐりゴマを作る時、軸として適している枝を見つけて使う</li> <li>・栗を集めて栗ご飯作り</li> <li>・干し柿作り＝収穫されない渋柿は、街中でも結構ある</li> </ul>	味覚 想像力 創造力
冬	冬の葉っぱや枝	焚き火 <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃えやすい木、燃えにくい木</li> <li>・パチパチと弾ける葉、そうでない葉</li> <li>・イモ、クリ、煮干しなどを焼いて食べる</li> </ul>	五感いろいろ
	冬の実	ヌスビトハギの実で、服に絵や文字を書く	

	飼育と栽培	<ul style="list-style-type: none"> <li>・椎茸を育てる</li> <li>・お正月飾りを作る＝クリスマスよりも身近な自然と親しめる (松、竹、梅、わら、お餅、ユズリハ、ウラジロ、ナンテン、ダダイなど)</li> </ul>	
その他	野草園	踏まないようにするだけで野草は生えてくる＝あえて手を加えない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の手が加わらないのに、自分の力で生え、育っていく野草の存在自体が、生命を学ぶことにつながる。</li> <li>・日本の風土と他の国との違い (例：砂漠地帯、モンゴルの草原など)</li> </ul>
	落ち葉	<b>腐葉土作りコーナー</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・畑や栽培で使う</li> <li>・ビオトープになる (ミミズ、ムカデ、幼虫などが育つ。それを使って自分たちも生きている。命の循環を感じ取る)</li> </ul>	
	園庭に植えたい木	木登りに向いた木 (シイの木など)	状況、体力に合わせて体の使い方を工夫する。自分の身を守る力を育てる
	水辺を作る	人工的な環境は、必ず長期的なメンテナンスが必要なことを覚悟してから作る	自然に対しての働きかけに責任を持つ
	どろだんご場	乾いた土があり、身近に水が得られる環境 土と水と手だけで作るどろだんごは、重要な自然遊び	創造力 集中力